

東京都手話サークル連絡協議会

2018 年度 定期総会

議 案 書



2018 年 4 月 29 日 (日) 13 : 00 ~ 15 : 00

於 : 世田谷区 三軒茶屋らぷらす

## 2018年度 定期総会 次第

司会：事務局員

1. 代表あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. 議長選出
4. 総会成立の確認（2017年度 加盟数 26 / 定足数 14）
5. 2017年度 活動報告
  - 1) 総括
  - 2) 事務局報告
  - 3) 広報班 活動報告
  - 4) 一日研修会報告
    - ① ブロック企画
    - ② 事務局企画
  - 5) 各委員会報告
    - ① 福祉対策会議
    - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会
    - ③ たましろの郷後援会役員会
    - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会
  - 6) 協力行事報告（①②③実行委員会・④当日要員）
    - ① 自立支援センターまつり
    - ② 耳の日記念文化祭
    - ③ 東京都のろう教育を考える会
    - ④ たましろフェスタ 2017 in すみだ
  - 7) 質疑応答
6. 2017年度 活動報告 一括承認
7. 2017年度 会計報告
  - 1) 収支決算報告
  - 2) 会計監査報告
  - 3) 質疑応答
8. 2017年度 会計報告 承認
9. 2018年度 活動（案）
  - 1) 活動方針(案)・質疑応答
  - 2) 年間計画(案)・質疑応答
  - 3) 予算(案)・質疑応答
10. 2018年度 各案 個別採決
11. 議事（1. 分担金について 2. 東京聴覚障害者総合支援機構理事について）
12. 役員改選
13. 今年度会計監査担当ブロック確認（城北ブロック）
14. 議長退任
15. 閉会

（※総会終了後 第1回担当者会議に移行 15:10～16:50）

～ 全員で原状復帰 17:00 退室（時間厳守） ～

## 2018年度 総会資料 目次

### 1. 2017年度 活動報告

- 1) 総括…………… 2頁
- 2) 事務局報告…………… 3～5頁
- 3) 広報班 活動報告…………… 6頁
- 4) 一日研修会報告
  - ① ブロック企画…………… 7頁
  - ② 事務局企画…………… 8～9頁
- 5) 各委員会報告
  - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議…………… 10～11頁
  - ② 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会…………… 12頁
  - ③ たましろの郷後援会役員会…………… 13頁
  - ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会…………… 14頁
- 6) 協力行事報告（①②③実行委員会・④当日要員）
  - ① 自立支援センターまつり…………… 15頁
  - ② 耳の日記念文化祭…………… 16～17頁
  - ③ 東京都のろう教育を考える会…………… 18頁
  - ④ たましろフェスタ2017 in すみだ…………… 19頁
- 7) 2017年度 収支決算報告…………… 20頁

### 2. 2018年度 活動（案）

- 1) 活動方針(案)…………… 21頁
- 2) 年間計画(案)…………… 22～23頁
- 3) 予算(案)…………… 24頁
- 4) 議事…………… 25頁
- 5) 会則…………… 26～27頁

### 3. 役員改選…………… 28頁

# 1. 2017年度 活動報告

## 1) 総括

東京都手話サークル連絡協議会  
代表 高田 直樹

平成29年度の東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)は、26サークルでスタートしました。今年度も加盟サークルからの協力もあり、センターまつり、耳の日記念文化祭、ブロック企画・事務局企画一日研修会など無事に終わることができました。心より感謝申し上げます。

加盟サークル数の減少に危機感がありながら、2017年度の加盟サークル訪問はできませんでしたが、世田谷手話サークルたんぽぽの招きで、群馬県手話サークル連絡協議会の方々との交流や未加盟サークルの江戸川の手話サークル訪問ができました。来年度はなんとか幅広く訪問し、多くのサークルと力を合わせたいと思っています。

2018年2月に葛飾手話サークルから突然退会のメールが届きました。連盟の行事等を通して、都サ連の存在をアピールしてきたと自負していただけに、とても残念で断腸の思いです。また再加盟をして頂ける日を願うばかりです。

2018年10月20日～21日に「全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会」が東京学芸大学で開催されます。それに先立ち昨年準備が始まり、11月の埼玉集会に実行委員として下見に参加しました。ろう重複者の問題を考えることは、手話を学ぶ我々の原点でもあります。すべての障害者の完全参加と平等を目指したいですね。多くの要員が必要です。加盟サークルの皆様の協力を是非ともお願いします。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、2017年11月19日に「TOKYOみみカレッジ～いろんな言葉、広がる世界～」が開催されました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、聴覚障害者が安心して東京を訪れることができるよう、東京都と公立大学法人首都大学東京、NECが協働で、手話及び聴覚障害についての理解と関心を深めることを目的としたイベントを開催しました。学生手話サークルによるステージ発表、首都大学東京室田信一准教授らによる基調講演など、多彩なイベントが行われました。手話で楽しんだり、色々なコミュニケーションを学ぶ良い機会となりました。学生サークルとのつながりでは、PRのために文化祭等を利用して、大学の手話サークルを訪問し、説明や情報交換をすることができました。ブロック企画と事務局企画の両方の一日研修会にも参加して頂くことができました。大学の手話サークルとは、お互いの棲み分けの中で、交流を続けることができれば良いと思っています。

都サ連としましては、私たちの進むべき方向性を再確認し、都内で活動する手話サークルが結束することで、活動の門扉を広げることができると考えています。確かに一人ひとりの力は微々たるものかもしれませんが、それでも、その力を合わせれば必ず大きな運動に繋がり、花を咲かせることが出来ると信じています。これからは自分の地域の問題を考えるだけでなく、全国の手話サークルとも力を合わせ運動の輪を広げていきたいと思えます。

これからも東京都聴覚障害者連盟との強力な協力関係を構築するために、加盟サークルの力を貸して頂きたいと思えます。是非ともよろしくお願いします。

## 2) 事務局報告

事務局長 河野 悠子

### 1. 2017 年度 加盟サークル … 26 サークル

ブロック	サークル名	地域	ブロック	サークル名	地域
城南 (7)	大田区手話サークル	大田区	多摩北 (3)	手話サークルむさしの(昼)	武蔵野市
	港区手話サークル 麦の会	港区		手話サークルむさしの(夜)	〃
	手話サークル「て」	〃		立川手話こぶしの会	立川市
	品川手話サークル	品川区			
	めぐろ手話の会	目黒区			
	手話サークル たんぽぽ	世田谷区			
	渋谷手話の会	渋谷区			
城北 (10)	手話サークル江東	江東区	多摩南 (6)	八王子手話サークル 桑の実会	八王子市
	手話サークル葛飾	葛飾区		八王子手話サークル 「山吹会」	八王子市
	北区手話サークル	北区		府中市手話サークル かんたん	府中市
	板橋手話サークル	板橋区		手話サークル「てとて」	府中市
	手話サークル 練馬こぶし会	練馬区		手話サークル まちだ	町田市
	だるま会	中野区		多摩市手話サークル 「クローバー」	多摩市
	手話サークル 杉の会	杉並区			
	文京手話会	文京区			
	新宿区手話サークル	新宿区			
	手話サークル「すみだ」	墨田区			

### 2. 2017 年度役員

代表	高田 直樹 (たかだ なおき)	手話サークル まちだ
事務局長	河野 悠子 (かわの ゆうこ)	板橋手話サークル
会計	剣持 敦子 (けんもち あつこ)	だるま会

### 3. 会議等開催実績

#### (1) 担当者会議

回	月	日	曜	内容	開催会場	参加数
1	4	30	日	定期総会	新宿区 障害者福祉センター	出席 24・委任 1
2	6	25	日	例会	新宿区 障害者福祉センター	21 サークル
3	8	27	日	例会	府中市 西府文化センター	20 サークル
4	10	22	日	例会	北区 赤羽会館	13 サ・学生サ 2
5	12	17	日	例会	立川市 こぶし会館	19 サークル
6	2	25	日	例会	板橋区 富士見地域センター	19 サークル

※ 会議等の詳細は「各回の担当者会議 記録」をご参照ください。

(2) 事務局会議

回	月	日	曜	開催会場	出席数	備考
1	4	5	水	渋谷区 自立支援センター	7	
2	4	18	日	板橋区 障がい者福祉センター	4	議案書印刷・発送
3	5	10	水	渋谷区 自立支援センター	7	
4	6	7	水	渋谷区 自立支援センター	7	
5	7	5	水	渋谷区 自立支援センター	7	
6	8	2	水	渋谷区 自立支援センター	8	
7	9	6	水	渋谷区 自立支援センター	9	
8	10	4	水	渋谷区 自立支援センター	10	
9	11	1	水	渋谷区 自立支援センター	8	
10	12	6	水	渋谷区 自立支援センター	10	
11	1	10	水	渋谷区 自立支援センター	10	
12	2	7	水	渋谷区 自立支援センター	9	
13	3	7	水	渋谷区 自立支援センター	10	

※ 会議の詳細は「各回の事務局会議 記録」をご参照ください。

(3) 一日研修会

回	月	日	曜	担当	開催会場	来場者数
1	9	17	日	多摩北ブロック	立川 アイム	192名(内 招待 8)
2	1	28	日	事務局	日大 国際会議場	209名(内 招待 20)

4. 2017年度の主な活動

(1) 担当者会議の開催（年6回：開催日は3-(1)参照）

<今年度の主な課題>

- ① 加盟サークル同士を知る。(継続)
- ② 都サ連組織・運営の見直し
- ③ 都サ連だから出来ることを考える。(継続)

<課題に対しての活動>

- ① 加盟サークルの活動日一覧表の配付  
 模擬例会（評判の良かった例会内容の紹介を準備担当ブロックにお願いした。）  
 サークルからの疑問・質問・報告に対する情報交換  
 各ブロック単位のメーリングリストの活用  
 年に1回、担当者会議の全体会で交流会を実施
- ② 都サ連組織の確認（組織図・会則・新規担当者向け資料等の配付）  
 事務局会議への出席者の見直し（各委員会委員の出席・会議報告）  
 分担金の見直し（少人数サークルへの対応）
- ③ 全国の手話サークル連絡協議会同士のネットワーク作り  
 金町学園閉園に伴う新施設設立運動への協力  
 投票所におけるコミュニケーションボード設置状況の調査

(2) 事務局会議の開催（開催日は3-(2)参照）

<今年度の主な課題>

- ① 事務局会議の位置づけ、出席者及びその関わり方を再確認する。（継続）

<課題に対する対処>

- ① 事務局会議の位置づけが、会則の改正によって明文化された。（第6条・15条）
- ② 事務局会議への出席者の拡大  
代表・事務局長・会計に加え、事務局員・各委員会委員の参加により出席者を増員した。
- ② 事務局会議のシステム化（継続）  
事前準備（開催通知・出欠確認・議題の作成・各委員会報告の掲載など）  
事後処理（記録案の作成・チェック・正式記録の作成・加盟サークル配信）  
事務局MLによるメンバー間の情報共有

(3) 一日研修会の開催（年2回：詳細は一日研修会報告を参照）

① 第1回（9/17）…多摩北ブロック企画

午前「私が歩んだ道」

講師：春日 春樹氏

午後「海外のろう学校・ろう者との関りから」

講師：橋本 一郎氏

～ 日本・自分自身を見つめて ～

② 第2回（1/28）…事務局企画

午前「手話通訳の役割」

講師：森本 行雄氏

～ 手話通訳はAIに取って代わられる仕事か ～

午後「ろう者のトラック運転手・バス運転手」

講師：松山 建也氏

(4) 会報「都サ連通信」発行（年6回）

<主な掲載記事>

各委員会報告・広報班活動報告・一日研修会報告・行事協力報告・行事参加報告 等

<課題>

会報の掲載記事等、内容についての問題提起は特になかったが、メール便の廃止による郵送費の負担増、会報の編集・印刷協力者の増員などが継続課題。

(5) 以下の会議に構成団体として参加（詳細は各委員会報告参照）

- ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議                      ② 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会  
③ 自立支援センター運営委員会                      ④ たましろの郷後援会役員会  
⑤ 東京都のろう教育を考える会

(6) 以下の行事に実行委員または要員として参加協力（詳細は各協力行事報告参照）

- ① 第19回 自立支援センターまつり（7/17）・事前準備（7/15）                      延べ 80名  
② たましろフェスタ2017 in すみだ（10/9）惣菜パンの販売                      6名  
③ 第47回 耳の日記念文化祭（3/3・3/4）・前日準備（3/2）                      延べ 123名

(7) 単年度会計へ向けての努力（継続）

- ① 事務局長宅のFAXを年経費2,000円にて借用  
② 一日研修会の内容を充実させ、幅広く参加を呼び掛け、黒字を目指す。  
③ 分担金を見直し、加盟サークルの増加を目指す。

### 3) 広報班 活動報告

広報班 大木知也 (八王子手話サークル山吹会)

未加盟サークルへの働きかけは、直接の訪問こそ今年度もできませんでした。しかし、加盟した後の環境について、つまり現在加盟しているサークルも継続していきやすい環境を整えることについて焦点を絞り、分担金の見直しを積極的に促させていただきました。

分担金の見直しは、現在加盟している中では該当するサークルは多くはありませんが、条件に合うサークルにとって、また未加盟サークルにまで視野を広げると、その影響力は軽視するべきではありません。

また未加盟サークルに対して柔軟性をもって受け入れる用意があるという姿勢を示すことに繋がり、今後の広報活動において有利に働く見通しがあります。

都サ連に加盟するメリットは何かという問いに対しては、あくまで横の繋がりという性質上、事務局の調整だけでは限界があり、個々の加盟サークルからの自発的な盛り上がりにも頼らざるを得ません。

今後は、加盟における個々のメリットだけに目を向けるのではなく、東京都の手話言語条例成立のために、各地域で活動するサークルから組み上がる東京都レベルの一団として、加盟がないことの内外へのデメリットにも意識を向けていくべきであることに思い至ります。

大学生サークルに関しては、今年度も加盟サークルからのご理解とご協力をいただき、恒例の都サ連一日研修会の無料招待では、9月のブロック企画で8名(5団体)、1月の事務局企画で18名(6団体)の参加を得られました。

都サ連が要員として参加している行事では、手話が言語として当たり前前に飛び交っている現場を体感してもらう目的もあって要員募集をし、7月の自立支援センターまつりでは5名(2団体)、3月の耳の日記念文化祭では今年度は1名ではあるものの将来性を伴った積極性を持った方に協力していただきました。

また10月の衆院選でのコミュニケーションボードの設置状況の調査の際にも協力を呼びかけたところ、5団体から24箇所の投票所についての報告をいただきました。

今年度の文化祭の案内は11件、学生主催の交流会の案内は4件、それぞれに挨拶も兼ねて出来るだけ参加させていただき、関係性の再構築や、新しい繋がりを得て参りました。

ろう文化としての手話に興味を持っている若者の積極性を応援していくことが、お互いの将来的な可能性を促すだけでなく、現在の我々にとっても確かな恩恵を得る機会にもなりつつあるように思えます。

2018年3月時点で連絡の取れている大学生サークル一覧(略称、順不同)

東大しゅわっち、法政わたがし(市ヶ谷)、法政ちゅらたま(八王子)、  
早稲田さあくる、北里手話部相模原、北里手話部白金、  
東京理科SSL(神楽坂)、東京理科サインデイズ(葛飾)、  
駒澤かえで、立教テブクロ、慶應MiMi、日大PEACE、  
上智てのひら、学習院のぞみ、日本女子Hand in Hand、  
大妻ヒマワリ、学芸大おやゆび姫、目白オレンジ、  
東京国際Set's、東京成徳サークル、城西国際サークル

以上 21 団体



## 4) 一日研修会報告

### ①ブロック企画（多摩北ブロック）

多摩北ブロック一日研修会実行委員

#### 【実施報告】

実施日：2017年9月17日（日） 10:30～16:00

会場：立川市女性総合センター アイム1階ホール

内容：午前の部（10:30～12:30）

講演①「私が歩んだ道」

講師 春日晴樹氏

午後の部（14:00～16:00）

講演②「海外のろう学校・ろう者との関わりから  
～日本・自分自身を見つめて～」

講師 橋本一郎氏

来場者：192名（加盟サークル179名 / 一般5名 / 招待8名）

#### 【収支報告】

収入 … 184,000円（内訳：参加費（サークル1,000×179名、一般1,000×5名）

支出 … 135,431円（内訳：講師謝礼60,000、ホール使用料16,800、諸経費58,631）

残金 … 48,569円（残金は本部会計へ）

2017年度は、多摩北ブロックが企画・運営を担当いたしました。担当者会議やメールでのやりとりの他、数回打合せの時間を設け、話し合いを進めてまいりました。

講師お二人は早々に決定し、会場もスムーズに取ることができました。

手話通訳とPC通訳は、前年同様意思疎通支援者派遣を利用のために謝礼の負担はなし。チケット販売は各サークルが参加者氏名と人数を事務局に報告する方法で行いました。申込者多数のため締め切り前に定員に達して、何名かやむなくお断りすることに。締切日の設定に関して今後考慮する必要があると感じました。

会計につきましては特に問題なく、結果黒字となりました。

良かった点としては、狭いスペースでも使用できる超短焦点プロジェクターをレンタルしたことが挙げられます。一般的なプロジェクターは設置の際にある程度のスペースを必要としますが、このプロジェクターのおかげで会場内を広く利用することができました。

講演はお二人とも大変好評でした。アンケート結果も「大変良かった」と記入された方が多く、午前の部の春日氏には、「生きる力を与えられた」「人生と宇宙のお話、両方を聴くことができ良かった」午後の部の橋本氏には、「熱血指導がろう児に伝わっていると感じ、心に響いた」「手話を続ける意味を改めて教わり、サークルのあり方を考えることができた」などの感想が寄せられました。

台風の接近で開催が心配されましたが、無事に終えることができました。

事務局、各サークル会員の皆さまに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ② 事務局企画

事務局

### 【実施報告】

実施日：2018年1月28日（日）10:00～16:00

会場：日本大学 文理学部 百周年記念館 2階 国際会議場

内容：第1部（10:10～12:10/13:20～14:20 ※昼休憩 12:10～13:20）

講演①「手話通訳の役割」

～手話通訳はA Iに取って代わられる仕事か～

講師 森本行雄氏

第2部（14:30～15:50）

講演②「ろう者のトラック運転手・バス運転手」

講師 松山建也氏

来場者：209名（加盟サークル173名 / 一般16名 / 招待20名 うち講師関係者2名）

### 【収支報告】

収入 … 197,000円（内訳：参加費1,000×173名、1,500×16名）

支出 … 92,878円（内訳：謝礼60,000、要員補助12,000、諸経費14,878、交流会6,000）

残金 … 104,122円（残金は本部会計へ）

### 【準備】

借用会場：百年記念 国際会議場（メイン会場）

会議室（講師控室・要員クローク）

借用機材：マイク4（ワイヤレス2・コード付1・ピン1）・引出式スクリーン1

PC通訳用プロジェクター1・HUB・LANケーブル・案内板3・各種コード

国際会議場（備付け：スクリーン1・PC1・モニター2）

案内板設置箇所：右折表示・入口正面・昇り階段付近

大学との事前打合せ：1月18日（木）

### 【担当】

集合：8時30分 記念館エントランスホール

会場設営（案内板設置、控室整備、受付機の運搬など）：事務局全員

受付：林紀子・森野郁子・杉本美穂子・大木知也（学生対応）

会計：剣持敦子

講師接待：杉石めぐみ（※講師到着9時30分）

全体調整：河野悠子

機材の設置及び調整：高田直樹・堀浩司・藤井学

ビデオ撮影：堀浩司・藤井学

書籍販売：杉石めぐみ・大塚青生（補助）

司会：堀浩司

情報保障：PC通訳（午前4名・午後4名） 手話通訳（午前・午後通し3名）

※意思疎通者派遣を申し込み承認された。（都サ連として謝礼の負担なし）

## 【アンケート】

参加者：209名 アンケート回収138枚（回収率約66.0%）

◇参加回数：初めて48名 2回目26名 3回目24名 4回以上39名 無記入1名

◇回答者：聴者124名 ろう者10名 難聴者3名 無記入1名

### ◇内容について

第1部 … 良かった・大変良かった130名 普通4名 無回答4名

- ・データを使っての説明で、字幕や手話通訳の状況などが具体的にわかった。
- ・聴覚障害者について、まだまだ解決されていない問題がある現実を理解することができた。
- ・パワーポイントが工夫されていて、字も大きく見やすかった。配慮を感じた。
- ・話がわかりやすく楽しかった。あっという間に講演が終わった。
- ・経験談が勉強になった。もっと事例が聞きたい。ダイアログ・イン・サイレンスがなかったのが残念。
- ・手話通訳を機械でなく人が担うことの必要性・重要性を再認識できた。
- ・聞こえない人の歴史・生活実態を知ることが必要と感じた。手話通訳のあり方を今一度考えたい。手話をこれからも頑張って続けたい。

第2部 … 良かった・大変良かった128名 普通4名 無回答6名

- ・バス運転手になるために、キャリアステップしていく行動力と問題解決力が素晴らしい。
- ・夢を諦めないこと、工夫すること、そして周りの協力が大切だと思った。
- ・トラック・バス運転手としての知識も豊富で、熱意も伝わり面白い話だった。
- ・レジュメがあると、後で見返すことができてわかりやすい。
- ・もう少しゆっくり話を聞きたかった。
- ・学生さんの参加があるのはいいこと。若い人の感想も聞けて良かった。

### ◇その他の意見

- ・今後も、ろう者で活躍されている方々の話を聞きたい。
- ・会場については「会場内で昼食が取れて良かった」「見やすかった」「場所が分かり易い・便利」という意見と、「手話が見えなかった」「会場内が寒かった」「もう少しアクセスの良い会場を」という意見に分かれた。
- ・その他、スタッフへの労いの言葉も多数いただいた。

### ◇スタッフの反省

- ・事前にピンマイクのチェックをしたにも関わらず、本番ではなぜか雑音が入った。途中で別のマイクと交換してもらい、その後はクリアに聞こえるようになったが、最初の何分かは聞き苦しく、参加者に迷惑をかけてしまった。今後は、マイクの指向性・音量の適応範囲など、きめ細かくチェックをしたい。

## 5) 各委員会報告

### ①東京都聴覚障害者福祉対策会議

委員：高田直樹（代表 手話サークル まちだ）  
堀 浩司（北区手話サークル）  
林 紀子（手話サークル 杉の会）

福祉対策会議は、原則毎月第一月曜日に開催され、全国の動向を捉えつつ、東京における聴覚障害者の福祉向上を目指し議論を行っています。東京都手話サークル連絡協議会（以下都サ連）は構成団体のひとつとして参加しています。また、全国要約筆記問題研究会東京支部、東京都要約筆記サークル連絡会と共に、交代で会議記録作成も担当しています。

さて、一昨年、手話言語法制定を国に求める意見書が全国の地方議会 100%で採択されて以降、変革のうねりは、さらに大きくそして日本列島全域への広がりを見せています。

いよいよ、東京都でも差別解消条例が施行される運びとなりました。約一年間に及ぶ検討部会を重ねて内容案が確定しました。事業者による「合理的配慮の提供」を義務化し、「手話は言語である」ことが明記されます。現在は条文化の作業に入っており、6月の東京都議会での審議、採択を経て、10月施行となる見込みです。この条例制定は各地域の手話言語条例制定への弾みとなるに違いありません。

折しも、3月23日「江戸川区手話言語条例」が区議会にて採択されたというニュースが飛び込んできました。もちろん、都内第一号です。江戸川区の手話サークルは、都サ連には未加盟ですが、昨年6月、高田代表が訪問してお話させていただいています。今後、共に活動できることを期待しています。

手話言語条例は全国各地でも相次ぎ成立し、22都道府県/1区/133市/19町の175自治体（30年3月30日現在）となりました。都内でも、第二号の誕生が近いやもしれません。

一方、「手話を広める知事の会」は、47都道府県すべての知事が加入しました。「全国手話言語市区長会」も392市区長（東京都内は22区市）9町村長（30年2月6日現在）の入会となっています。

耳の聞こえない人たちが、手話を学び手話で情報を獲得できる、自由に手話でコミュニケーションをとれる、そのような社会を実現するために、さらには、国民一人ひとりが手話を言語として理解し、豊かな言語・コミュニケーション環境を整備するためには、「手話言語法」が必要です。

福祉対策会議は、手話言語法（仮称）、情報・コミュニケーション法（仮称）の制定実現に向けた運動を通じて、誰もが安心して暮らせるインクルーシブな社会を目指して活動を続けています。  
（文責：高田・堀・林）

#### 【話し合いの主な内容】

- ① 全国の動向・東京の動向・関係団体の動向・関係委員会の取り組み・その他。
- ② 手話言語法制定への取り組み・障害者差別解消法等の取り組みについて。
- ③ 東京都差別解消推進条例と各地域の手話言語条例について。
- ④ オリンピック・パラリンピックに向けての取り組みについて。
- ⑤ 東京都への要望と東京都福祉局との福祉懇談会について。
- ⑥ 参政権保障委員会の取り組み（コミュニケーションボードの普及、投票所のバリアフリー、被選挙権、衆参議院議員選挙など）について。
- ⑦ 情報提供施設の取り組みについて。
- ⑧ 聴覚障害児施設建設について。

《2017年度 主な会議日程》

- 4月3日 第115回 福祉対策会議
- 6月12日 第116回 福祉対策会議
- 7月3日 第117回 福祉対策会議（記録：都サ連）
- 7月29日 第43回 聴覚障害者施策推進地域担当者会議兼 東京都手話言語フォーラム
- 9月4日 第118回 福祉対策会議
- 10月2日 第44回 臨時地域担当者会議（記録：都サ連）
- 11月6日 第119回 福祉対策会議
- 12月4日 第120回 福祉対策会議
- 12月24日 第45回「電話リレーサービス」学習会&地域担当者会議（記録：都サ連）
- 2月5日 第121回 福祉対策会議
- 3月5日 第122回 福祉対策会議
- 3月29日 第46回 地域担当者会議（記録：都サ連）

《記録担当者》

- 7月3日 河野悠子（都サ連事務局）・堀 浩司（北区手話サークル）
- 10月2日 河野悠子（都サ連事務局）・堀 浩司（北区手話サークル）
- 12月24日 釧持敦子（中野だるま会）・堀 浩司（北区手話サークル）
- 3月29日 河野悠子（都サ連事務局）・堀 浩司（北区手話サークル）

【構成8団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
認定NPO法人 東京盲ろう者友の会  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都登録要約筆記者の会  
全国要約筆記問題研究会 東京支部  
東京都手話サークル連絡協議会  
東京都要約筆記サークル連絡会

## ② 公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター運営委員会

運営委員 高田 直樹 (代表 手話サークルまちだ)  
天野 京子 (品川手話サークル)

自立支援センターは、聴覚障害者の問題、手話の普及啓発事業として上級手話講習会、素晴らしい手話の世界(手話講座)、特別講演等を企画・実施しています。また、就労支援・生活支援などの相談支援事業を行っています。

東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)から高田と天野が運営委員として、自立支援センターの運営に関わっています。

運営委員会は原則第二土曜日 10～12 時自立支援センター多目的室にて開かれました。

2017 年度 運営委員会の開催日は以下の 11 回でした。

4月8日(土)、5月13日(土)、6月10日(土)、7月8日(土)、8月は夏休み

9月9日(土)、10月14日(土)、11月11日(土)、12月9日(土)、1月13日(土)、

2月10日(土)、3月10日(土)

運営委員は総務部(財務含む)・自立支援事業部・手話啓発事業部・センター啓発事業部にわかれて担当します。(高田と天野は、センター啓発事業部所属です。)

その他、7月17日(海の日)の「第19回自立支援センターまつり」では、都サ連はスタンプラリー・福引・ゲーム・納涼コーナー・杉の会の協力を得て模擬店(焼きそば)を担当しました。運営委員としては高田がまつりの副実行委員長を、天野が実行委員として補聴器相談を担当しました。

また、3月3日(土)・3月4日(日)の「耳の日記念文化祭」では、自立支援センターはバザーと模擬店(甘酒・お汁粉)を出店し、センター啓発事業部運営委員が運営を担いました。

自立支援センターは相談支援事業等への割合が大きくなり、次年度から法人体制の変更をすることになりました。それに伴い、自立支援センター運営委員会は2018年5月までとすることが決定しました。体制の変更により法人理事の依頼が都サ連にあります。4月総会後に回答することになっています。就労移行支援事業は2月1日に指定が下り、「RONAスクール」は4月2日に開講します。いままで担っていた、手話講習会、福祉機器貸出、センターまつり事務は、自立支援センターより東京都聴覚障害者連盟へ移行となります。

### 【自立支援センター運営委員会構成団体】

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟

認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会

東京都手話通訳問題研究会

東京都手話サークル連絡協議会

渋谷区聴覚障害者協会

### ③ たましろの郷後援会役員会

役員：神保沙織（大田区手話サークル）  
金丸毬子（新宿手話サークル）

今年度も都サ連からは2名が後援会役員として参加しました。

後援会では毎月の会議の他、皆様に「たましろの郷」「ろう重複者」のことを知っていただき、都内聴覚障害者の福祉事業充実に取り組む「社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会」を全面的に支える活動資金の一環にご協力いただけるよう、今年度も以下のような活動や行事を企画・運営いたしました。

- ・たましろの郷活動報告集会
- ・たましろの郷見学・交流バスツアー
- ・たましろフェスタ 2017 in すみだ
- ・耳の日記念文化祭ナイトバー
- ・手話で語る 3月10日東京大空襲体験
- ・たましろの郷ニュースの作成・配信
- ・後援会活動や施設を知っていただくための講座
- ・球根・カレンダー等販売
- ・牛乳パック募金箱

耳の日記念文化祭では都サ連を通じてたくさんの皆さんに要員をしていただき、また、たましろフェスタでは恒例となった「都サ連のパン屋さん」で売り上げをたましろの郷に寄付をしました。さらに、たましろの郷を知っていただく「出前講座」にもたくさんのサークルから依頼をいただきました。

後援会の会計は厳しい状態が続いていますが、これからも新たな企画やグッズ販売などを進めていく予定です。皆様のあたたかいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

#### 【構成団体】

公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
東京都手話通訳問題研究会  
東京ろう重複者とあゆむ会  
東京都手話通訳者協会  
東京都手話サークル連絡協議会  
東京手話通訳等派遣センター分会  
たましろの郷世田谷委員会(世田谷)  
たましろの郷板橋後援委員会(板橋)  
八王子たましろの郷後援会(八王子)  
葛飾たましろの郷後援会(葛飾)  
たましろの郷練馬後援委員会(練馬)  
ひのたましろの郷後援会(日野)

#### ④ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会

委員 高田直樹（代表 手話サークルまちだ）  
堀 浩司（北区手話サークル）  
三村和成（めぐろ手話の会）

本委員会は毎月第3月曜日に定例会議を開催し、委員会の方向性や情報保障のあり方について話し合った。

主な活動は、選挙に関連して、課題や各団体で持っている情報の交換、また例年同様に都選挙管理委員会、および東京青年会議所との意見交換会も行なった。

2017年度は、7月2日に都議会議員選挙が行われ、また、10月22日には衆議院議員選挙が行われた。衆議院選挙においては、参政権保障委員会として、政見放送ビデオ上映会を開催した。政見放送では、字幕および手話通訳が付くことが多くなってきたが、まだまだ十分な情報保障とは言い難い。引き続き、情報保障の重要性を訴えていく。

両選挙では、投票所においてコミュニケーションボードの活用も徐々にではあるが、広がってきたが、活用されていない投票所もあり、今後もサークル各員に協力をいただきながら、活用状況の調査を進めると同時に啓蒙活動を行なっていく。

2018年7月には、被選挙権をテーマに皆さんと一緒に学習する企画を考えている。今後はさらに選挙関係法令の学習なども進め、インターネットの活用などその可能性を検討するなど、聞こえない方の参政権保障に向けた取り組みを進めていく。

##### 【2017年度 委員会の主な日程】

4月17日	参政権委員会
5月15日	参政権委員会
6月19日	参政権委員会
8月21日	参政権委員会
9月19日	参政権委員会
10月16日	参政権委員会
11月11日	参政権委員会（東京青年会議所との懇談会）
12月18日	参政権委員会
1月15日	参政権委員会（東京都選挙管理委員会との懇談会）
2月19日	参政権委員会
3月19日	参政権委員会

##### 【構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
認定NPO法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
東京都手話サークル連絡協議会  
東京都手話通訳問題研究会  
全国要約筆記問題研究会・東京支部



## 6) 協力行事報告

### ① 自立支援センターまつり

高田 直樹(代表 手話サークルまちだ)  
天野 京子(品川区手話サークル)

#### 【実施報告】

行事名：第19回 自立支援センターまつり

実施日：2017年7月17日(月・祝)

会場：東京聴覚障害者自立支援センター・リフレッシュ氷川

#### 【実行委員会日程】

自立支援センター運営委員会内にて行う

#### 【要員募集日程】

① 7月16日(福引準備・会場準備)

② 7月17日(当日)

#### 【主な担当内容】

##### ◆福引き・スタンプラリー

担当：河野悠子(板橋手話サークル) 要員：30名

##### ◆納涼会

担当：杉石めぐみ(手話サークル練馬こぶし会) 要員：8名

##### ◆ゲームコーナー

担当：西川擁(手話サークルたんぽぽ) 要員：5名

#### 【反省・次年度への引継ぎ】

##### ◆福引・スタンプラリー

- ・スタンプ対応者数、福引来場者数ともに昨年と同等の実績であった
- ・今回初めて福引会場が地下になり各団体の配置や備品の使用、終了時間など戸惑うことも多かった
- ・要員の担当時間や交代などはスムーズに行えた

##### ◆納涼会

- ・メニューの貼り紙がカラフルで好評だった。
- ・買い出しから、準備、販売まで、要員の方たちが手際よく進めてくださった。
- ・飲み物を冷やすための氷が沢山の集まり、十分に冷やすことができた。
- ・まつりを楽しむことと、売上を出すことのバランスを考えたい。

##### ◆ゲームコーナー

- ・スペースが広がったので配置を工夫し、効率よく行え目標数を達成できた
- ・時間により来客数にばらつきがあったので、企画終了時間などに合わせた効果的なPRをすると良い

#### 【総括】・要員を都サ連内で募集し、配置ができたことでスムーズ実施できた

- ・実行委員会がなかったため、細かい打合せが足りず、当日対応に苦労した
- ・急きょ決まったお茶の配布など、全要員に周知配布することが難しかった

## ②耳の日記念文化祭

### 『70年の運動の歩み、若者よ立ち上がれ』

実行委員 河野 悠子（事務局長 板橋手話サークル）  
杉本美穂子（手話サークル杉の会）

第47回耳の日記念文化祭は、2018年3月3日（土）～3月4日（日）の2日間開催されました。好天にも恵まれ延べ3,289名の来場者がありました。都サ連からは前日準備も含め、3日間で11サークル、延べ123名の方に要員としてご協力頂きました。

今回は、障害者福社会館と港勤労福社会館（体育館を除く）全館貸し切りで行われ、模擬店は5団体の出店となりました。

会館側からは、借用にあたり安全面（混雑緩和・車の出入り）・備品管理・借用ルールの遵守などに関して厳しい注意がありましたので、対応策として

①今回より、会館側との事前打ち合わせには都サ連と東通研の実行委員も出席して、意志の疎通に齟齬が起きないように、綿密な話し合いを重ねました。

②階段・通路・エレベータの昇降口に、養生テープ（色分け）を貼りルートを示しました。また、近くにプラカードを持った要員も配置して声かけを行いました。

③ナイトバー入場時の混雑緩和のため、当日朝から、テントの見えやすい箇所に整理券の配布時間と場所を明示しました。整理券は、手話サークル「すみだ」さんのご協力を得て、繰り返し使用できるラミネート製・首掛け式を作成、名称を『着席整理券』としました。

④安全確保のため、搬入業者に対して事前に『一時駐車許可証』発行し、車両出入り時間帯には誘導要員を増やしました。

⑤協力要員マニュアルを見やすくするため、具体的なイラストや図を加えるなど、修正を重ねました。

要員については、昨年に引き続き各係の責任者は連盟の方にお願ひし、要員の中に都サ連からリーダーを置いて、メンバーの変更や急遽の欠席等に対応したり、シフト表を作成して頂き、要員の把握管理をお願いしました。2年目とあって要員の連携やシフトがよりスムーズになりました。

実行委員会として安全でスムーズな運営に努めましたが、やはり課題は残りました。結果、皆さまにご不便やご迷惑をおかけしてしまいました。反省点は次回に生かしていきたいと考えています。

徐々にですが、皆さまが動き易いように改善をお願いしていますので、何か気が付いたことや、他に良い方法などありましたら、都サ連事務局にご連絡ください。今後とも、よろしくお願ひいたします。

【要員(延べ数)】 袋詰め 26名 3日 58名 4日 39名 計 123名

【来場者数】 2日間 延べ 3,289名

【実行委員会】 ①2017年 9月 14日 ②2017年 10月 12日  
③2017年 11月 9日 ④2017年 12月 14日  
⑤2018年 1月 11日 ⑥2018年 1月 29日(企業説明会)  
⑦2018年 2月 8日 ⑧2018年 3月 30日(実行員反省会)

【拡大実行委員会】 2018年 1月 25日

【要員説明会】 2018年 2月 17日

【全体反省会】 2018年 3月 4日 (耳の日文化祭終了後)

【実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会

【拡大実行委員会の構成団体】

公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京都聴覚障害者連盟  
東京都手話通訳問題研究会  
東京都手話サークル連絡協議会  
公益社団法人 東京聴覚障害者総合支援機構 東京聴覚障害者自立支援センター  
社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 後援会  
指定障害者支援施設 たましろの郷  
認定 NPO 法人 東京都中途失聴・難聴者協会  
認定 NPO 法人 東京盲ろう者友の会  
NPO 法人 全国要約筆記問題研究会東京支部  
東京都要約筆記サークル連絡会  
東京ろう重複者とあゆむ会  
社会福祉法人 東京聴覚障害者支援センター  
社会福祉法人 聴力障害者情報文化センター  
特定非営利活動法人 みみより会

### ③ 東京都のろう教育を考える会

実行委員 高田 直樹（代表 手話サークルまちだ）  
杉石めぐみ（手話サークル練馬こぶし会）

2014年8月「第26回ろう教育を考える全国討論集会」が、東京で開催されました。東京でも継続的にろう教育を考えていこうと、東京都聴覚障害者連盟が主催で開催してきた「ろう教育を考える会」を引き継ぎ、2015年9月に「東京都のろう教育を考える会」が立ち上がり、2017年度全国組織である「NPO法人ろう教育を考える全国協議会」に加盟しました。

東京都聴覚障害者連盟と東京都のろう教育を考える会の共催で、今年度も『東京都のろう教育を考えるフォーラム』を開催しました。

#### 『第21回 東京都のろう教育を考えるフォーラム』報告

日時：2018年2月17日（土）12時30分から16時

場所：港区立障害保健福祉センター

共催：東京都聴覚障害者連盟・東京都のろう教育を考える委員会

協力団体：「NPO法人ろう教育を考える全国協議会」「東京都手話サークル連絡協議会」

「東京都手話通訳問題研究会」「全国要約筆記問題研究会・東京支部」

参加者：約40人

講演①東京都立ろう学校PTAの役割／高山嘉通氏

講演②日本のろう教育の事始め／越智大輔氏

座談会 東京都立聾学校の国語教育の今と昔／市川明臣氏・寺師義和氏・栗野達人氏

「東京都のろう教育を考える会」運営委員会

主に上記フォーラムの内容を検討しました。

第8回運営委員会 平成29年7月22日（土）13時30分～15時30分  
リフレッシュ氷川

第9回運営委員会 平成29年11月11日（土）10時～12時  
リフレッシュ氷川

第10回運営委員会 平成30年2月3日（土）13時～15時  
リフレッシュ氷川

フォーラムを通して、以前の教育と現在の教育について話を聞きました。今後はこれからのろう教育について、都サ連とともに課題を共有し、学んでいきたいと思っております。

#### ④ たましろフェスタ 2017 in すみだ (都サ連パン屋実施報告)

担当：河野、剣持、杉本、林、藤井、大塚、洲脇、森野

##### 【出店内容】

- ・仕入先：新橋ベーカリー ・仕入数量：7種類 500個 (完売)
- ・要員：仕入運搬2名、販売7名

##### 【収支報告】

収入：113,666円 (売上104,000円 寄付820円 ※立替金8,846円)

支出：83,666円 (仕入75,276円 運搬費・要員交通費等8,390円)

残金：30,000円 → たましろの郷へ寄付

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
●パン売上		●仕入	
・カレーパン @180×100個	18,000	・カレーパン @120×100個	12,000
・メロンパン @180×100個	18,000	・メロンパン @120×100個	12,000
・クリームパン @180×100個	18,000	・クリームパン @120×100個	12,000
・豆乳パン @300×50個	15,000	・豆乳パン @185×50個	9,250
・十穀バンズ @100×50個	5,000	・十穀バンズ @59×50個	2,950
・黒ゴマハース @300×50個	15,000	・黒ゴマハース @220×50個	11,000
・胚芽イギリスパン@300×50個	15,000	・胚芽イギリスパン@210×50個	10,500
●釣銭寄付	820	・消費税	5,576
●立替金※	8,846	●運搬費	4,300
		●要員交通費(6人)	3,550
		●レジ袋	540
		●たましろの郷への寄付	30,000
収入合計	113,666	収入合計	113,666

※販売終了時の精算で仕入消費税を落として計算。また後日運搬費不足分を支払った。

消費税と運搬費不足分は個人が立替で次年度たましろフェスタパン販売時に精算する。

##### 【反省】

- ・パン納品の際に明細書がなく、当日の利益計算で消費税を落としてしまった。
- ・後日、運搬費の不足金の請求3,270円があり支払った。
- ・釣り銭、レジ袋、ポップ、ポスターなどの準備、販売員の連携もスムーズだった。
- ・昨年まで十穀バンズは3個セットで50個注文していたが、今年は単品で50個しか注文されていなかった。店主交代もあり、昨年同様という注文ではうまく伝わらなかった。
- ・今回のフェスタは会場も良く、天候にも恵まれたので、お昼過ぎには早々と完売してしまった。もっと欲張って仕入れても売り切れたと思うが、難しいところだ。

## 2017年度(2017.4.1～2018.3.31)収支決算報告

### 収入の部

(単位:円)

	予 算	決 算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	26サークル×5,000円
雑 収 入	0	152,691	一日研修会(多摩北ブロック・事務局)152,691円
前年度立替金	7,425	7,425	郵送費(2016年度欠席サークル分)
特別引当金より繰入れ	100,000	100,000	2016年度熊本県サークル支援金仮払い精算金 100,000円
前年度からの繰越金	506,258	506,258	
合 計	743,683	896,374	

### 支出の部

	予 算	決 算	備 考
通 信 費	13,000	8,436	総会資料・関係団体資料郵送料等
F A X 代	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	10,000	0	
消 耗 品 費	10,000	2,219	コピー用紙・封筒代等
交 際 費	30,000	11,000	都聴覚障害者大会祝儀・年賀広告(中難協・東聴連)
会 議 費	10,000	5,850	事務局会議会場費・総会会場費
交 通 費	150,000	122,519	事務局会議・委員会等交通費
事 業 費	10,000	0	
雑 費	3,000	80	振込手数料
今年度立替金	0	6,575	欠席サークル資料郵送料立替金
特別引当金	300,000	300,000	2016年度残額より繰入れ
予 備 費	205,683	0	
小 計	743,683	458,679	
繰 越 金	0	437,695	
合 計	743,683	896,374	

### 特別引当金 800,000円

	入 金	支 出	残 高
2016年度からの繰越金			600,000
一般会計から繰入れ	300,000		900,000
一般会計へ繰入れ※		100,000	800,000
計	300,000	100,000	800,000

※2016年度熊本県サークル支援金仮払い精算金

上記相違ない事をご報告いたします。

2018年 4月6日

会 計

劔持 敦子



上記相違ない事を確認いたしました。

2018年 4月6日

会 計 監 査

雨宮 直子

2018年 4月6日

会 計 監 査

三浦 和代



## 2. 2018年度 活動(案)

### 1) 活動方針(案)

都サ連 代表 高田直樹

- (1) 東日本大震災と東京都手話サークル連絡協議会(都サ連)  
震災から六年が過ぎ、被災地は少しずつ落ち着きを取り戻し始めていますが、復興への道のりはまだまだ遠い状態です。引き続き支援に取り組んでいかなければなりません。都サ連として再度被災地バスツアーを企画し実行したいと思っています。九州手話サークル連絡協議会と東日本大震災支援や熊本地震についての協議
- (2) 地域活動と東京都手話サークル連絡協議会  
手話サークルの活動は、地域聴覚障害者協会の活動と車の両輪の働きです。都サ連も東京都聴覚障害者連盟と共に運動協力を進めます。都サ連の組織化のためにも加盟サークルの増加に努力します。東京都聴覚障害者連盟を通して、「加盟のお願い」文書の配布
- (3) 広報班の活動の充実
  - ① 運動を幅広く進めるために、加盟サークルに限らず未加盟サークルや大学サークルへも訪問し、都サ連加盟サークルの結束と拡充をめざします。
  - ② 都サ連パンフレットや腕章を活用し広報活動に活かしていきます。
  - ③ ホームページやFacebookを有効に活用し、情報発信や都サ連の活動を紹介します。
- (4) 都サ連としての活動  
昨年度と同様に、関係団体と協力しながら、各種運動・活動を続けていきます。都サ連として、以下の活動に積極的に参加します。( )内は2017年度委員名
  - ① 東京都聴覚障害者福祉対策会議(高田直樹、林紀子、堀浩司)
  - ② たましろの郷後援会役員会(金丸毬子、神保沙織)
  - ③ 東京都聴覚障害者の参政権保障委員会(高田直樹、堀浩司、三村和成)
  - ④ 自立支援センター運営委員会[5月まで](高田直樹、天野京子)
  - ⑤ 東京都のろう教育を考える会実行委員会(高田直樹、杉石めぐみ)
  - ⑥ また、自立支援センターまつり、たましろフェスタ、耳の日記念文化祭などに積極的に参加協力します。
- (5) 加盟サークル間の交流と情報交換  
2018年度も担当者会議の進め方や時間の使い方を工夫します。加盟サークル間の交流を重視し、情報交換及び交流の方法についても工夫していきます。
- (6) 事務局の体制  
事務局の体制を見直し、運動が継続できる体制作りを目指します。事務局員・各委員の募集のしかたを工夫し、加盟サークルのメンバーが参加しやすい事務局を目指します。
- (7) 会計  
本年度も単年度会計の健全化を目指します。

## 2) 年間計画 (案)

事務局長 河野悠子

### 1. 会議等開催日程 (案)

#### (1) 担当者会議

回	月	日	曜	内 容	開 催 会 場	担当ブロック
1	4	29	日	定期総会	世田谷区 らぷらす (三軒茶屋)	事務局
2	6	24	日	例 会		多摩南ブロック
3	8	5	日	例 会		城北ブロック
4	10	28	日	例 会		多摩北ブロック
5	12	16	日	例 会		城南ブロック
6	2	24	日	例 会		多摩南ブロック

#### (2) 事務局会議

回	月	日	曜	開 催 会 場	備 考
1	4	4	水	自立支援センター 2階	
2	4	15	日	板橋区仲宿地域センター	議案書印刷・製本
3	5	2	水	自立支援センター 2階	
4	6	6	水	自立支援センター 2階	
5	7	4	水	自立支援センター 2階	
6	8	1	水	自立支援センター 2階	
7	9	5	水	自立支援センター 2階	
8	10	3	水	自立支援センター 2階	
9	11	7	水	自立支援センター 2階	
10	12	5	水	自立支援センター 2階	
11	1	9	水	自立支援センター 2階	
12	2	6	水	自立支援センター 2階	
13	3	6	水	自立支援センター 2階	

#### (3) 一日研修会

回	月	日	曜	担 当	開催会場
1	9	30	日	城南ブロック	
2				事務局	



## 2. 協力行事&日程（予定）

月	日	曜	行事名	組織等
7	15	日	第20回 自立支援センターまつり	実行委員会
8	26	日	たましろフェスタ 2018 in 福生	当日要員
3	2・3	土・日	第48回 耳の日記念文化祭	実行委員会

## 3. 来年度の主な活動(案)

(1) 都サ連を知る・都サ連を知ってもらう。

①都サ連のPR・加盟案内

- ・区市会長会議での地元手話サークル加盟のお願い…継続
- ・大学サークルとの関係作り…継続
- ・未加盟サークルへの訪問

②都サ連とは何か、加盟サークル間で共通認識をもつ

- ・新会則に則って、役員組織、事務局会議、担当者会議等の位置づけを整理。
- ・都サ連担当の役割や仕事について、年度初めに手引きを配付し説明…継続

(2) 加盟サークル同士を知る。

①親睦をはかる

- ・顔の見える会議形態 …継続
- ・都サ連主催の交流会（ハロウィーン・クリスマス会等）の企画 …継続

②情報交換

- ・加盟サークルの活動日一覧表の配付 …継続
- ・サークルからの疑問・質問・報告に対する情報交換 …継続
- ・手話サークルに相応しい例会企画等についての情報交換 …継続
- ・各ブロック単位のメーリングリストの活用…継続
- ・都サ連通信、ホームページ、メールで各種行事・企画を発信・共有する …継続

(3) 話し合いで見つかった問題や実際に行った活動を整理する。

- ・出された意見の集約・整理を行い、次の検討課題につなげる。
- ・紹介してもらった模擬例会等を、サークル運営の参考資料としてまとめ必要なサークルに提供する。

(4) 都サ連だから出来ることを考える。

- ・全国の手話サークル連絡協議会とのネットワーク作り
- ・金町学園閉園に伴う施設設立運動への協力…継続
- ・ろう団体との連携・運動協力（コミュニケーションボード設置状況の調査等）
- ・その他、都サ連だから出来る諸活動。

## 2018年度(2018.4.1～2019.3.31)収支予算(案)

### 収入の部

(単位:円)

	2016年度決算	2017年度決算	2018年度予算	備 考
分 担 金	130,000	130,000	125,000	25サークル×5,000円
雑 収 入	401,964	152,691	0	
前年度立替金	6,905	7,425	6,575	2017年度郵送費立替分未収金6,575円
特別引当金より繰入	—	100,000	—	
繰 越 金	317,455	506,258	437,695	
合 計	856,324	896,374	569,270	

### 支出の部

	2016年度決算	2017年度決算	2018年度予算	備 考
通 信 費	9,934	8,436	13,000	総会資料26サークル×140円 都サ連通信9団体×6回×140円
F A X 代	2,000	2,000	2,000	FAX代
広 報 費	0	0	10,000	都サ連パンフレット作成等
消 耗 品 費	5,227	2,219	10,000	封筒、コピー用紙、コピー代等
交 際 費	31,000	11,000	30,000	年賀広告(東聴連、中・難協)8,000円 大会参加費(東聴連、中・難協 他)
会 議 費	10,260	5,850	10,000	事務局会議 400円×12回 担当者会議 2,500円×2回
交 通 費	112,081	122,519	150,000	会議・委員会交通費、その他活動交通費
事 業 費	71,627	0	10,000	都サ連活動・行事等の補助(一日研修会等)
雑 費	512	80	3,000	振込手数料等
今年度立替金	7,425	6,575	0	欠席サークル資料郵送費立替
特別引当金	—	300,000	—	
予 備 費	100,000	0	331,270	
小 計	350,066	458,679	569,270	
繰 越 金	506,258	437,695	0	
合 計	856,324	896,374	569,270	

特別引当金	800,000
-------	---------

#### 4) 議 事

##### 1. 分担金について

##### 2. 東京聴覚障害者総合支援機構 理事について

# 東京都手話サークル連絡協議会 会則（案）

(名称)

第1条 本会は、東京都手話サークル連絡協議会と称する。

(住所)

第2条 本会の住所は事務局長宅とする。

(目的)

第3条 本会は、東京都内の手話サークルの恒常的交流と質的发展を図り、聴覚障害者団体及びそれを支援する団体との連携を強めていくことを目的とする。

(構成)

第4条 本会は、東京都内に拠点を置き活動する手話サークルによって構成される。

(活動)

第5条 本会の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 各手話サークルの抱える問題、課題を協議し、解決を目指す。
- (2) 研修会などの諸活動を行う。
- (3) その他、必要な活動を行う。

(機関)

第6条 本会の活動は次の機関で運営される。

- (1) 総会
- (2) 担当者会議
- (3) 事務局会議

(財政)

第7条 本会の事業年度は、4月1日から翌年の3月31日までとし、事業年度ごとに事業計画と収支予算を作成するものとする。

2 本会の経費は、次の収入によってこれに充てる。

- (1) 各サークルの分担金  
各サークルの分担金は年間5,000円とする。  
**但し、状況によって一部減額することができる。**
- (2) その他

3 本会の口座管理は、事務局長が行う。

(ブロック編成)

第8条 本会に所属するサークルは、地域別にブロックを編成することができる。

(総会の構成)

第9条 総会は本会の最高決議機関とし、加盟サークルの過半数の出席を以て成立する。

2 第1回目の会議を総会とする。終了後、必要に応じて担当者会議に移行できる。

3 議決権は1サークルに1つとする。

(総会の議決)

第10条 議決は出席サークルの過半数をもって決定する。

(総会の委任)

第11条 やむを得ず総会に出席できないサークルは、議長に議決権を委任することができる。この場合、委任するサークルは、委任状を事務局へ提出しなければならない。

(総会の付議事項)

第12条 次の事項を総会の付議事項とする。

- (1) 活動報告
- (2) 会計報告
- (3) 活動方針
- (4) 年度予算
- (5) 役員を選任及び解任
- (6) その他運営に関する重要事項

(担当者会議)

第13条 担当者会議は、各サークルで選出された担当者で構成し、原則として年に6回開催する。

(役員)

第14条 総会において、本会の役員として代表1名、事務局長1名および会計1名を選出する。

- 2 役員任期は1年とする。
- 3 本会は、所属サークルの推薦を受けた者を事務局員として任命することができる。
- 4 代表は事務局員の中から、副代表1名を選び、指名することができる。

(事務局会議)

第15条 事務局会議は代表、事務局長、会計および事務局員で構成する。

(会則の改定)

第16条 この会則を改定するときは、総会において加盟サークルの3分の2以上の賛成を必要とする。

附則

この規約は、昭和52年(1977年)2月16日より施行する。

附則

この会則は、平成27年(2015年)4月29日から施行する。

(改定経過)

1. 1990年4月29日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間3,000円を4,000円に改定。
2. 2003年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間4,000円を6,000円に改定。
3. 2008年4月27日(日)開催の第1回代表者会議において  
第6条 機関  
「代表は事務局員の中から、副代表(1名)を選び、指名することができる。」  
を追加。
4. 2009年4月26日(日)開催の第1回代表者会議において  
第7条 1. 各サークルの分担金  
分担金年間6,000円を5,000円に改定。
5. 2012年8月26日(日)開催の第3回代表者会議において  
会計事務手続きに伴い、第2条の表記を変更し、第7条に口座管理者を追加。
6. 2015年4月29日(祝)開催の総会において  
「規約」を「会則(条文等の構成を含む)」に改定。
7. 2018年4月29日(日)開催の総会において  
「分担金の減額について(減額条件は別掲)」改定。

### 3. 役員改選

東京都手話サークル連絡協議会 会則 第14条に則って、下記役員の改選を行う。

代 表 （1名）

事務局長（1名）

会 計 （1名）

副代表（1名）（必要に応じて代表が事務局員の中から指名）

事務局員（所属サークルの推薦を受け任命）

今年度の事務局会議は、第1水曜日・夜間の予定

～\*～

その他、都サ連から選出する委員・実行委員・担当者 等

#### 1. 各委員会

東京都聴覚障害者福祉対策会議 （第1月曜日・夜間）

自立支援センター運営委員会（5月まで） （第2土曜日・午前）

たましろの郷後援会 役員会 （第2月曜日・夜間）

東京都聴覚障害者の参政権保障委員会 （第3月曜日・夜間）

東京都のろう教育を考える会 実行委員会 （不定期開催）

#### 2. 広報班（都内手話サークルとの関係作り・その他の広報活動）

#### 3. 各種行事 協力

自立支援センターまつり

耳の日記念文化祭

たましろフェスタ

#### 4. 会議記録作成（福祉対策会議・地域担当者会議など）